

第28回

東京農大教育研究フォーラム

参加費
無料

テーマ

「実学＝実物を生かした授業の意義と重要性
ーデジタル学習基盤がある今日の学校で、生徒の学びをいかに深めるのかー」

2026年 13:00～16:40
8.21 金 (12:30 受付開始)

世田谷キャンパス
対面 及び オンライン(zoom)

お申し込み用QRコード▶

<https://forms.office.com/r/f2udgN1Ta7>



講演

生成AI時代の教師と生徒の学び

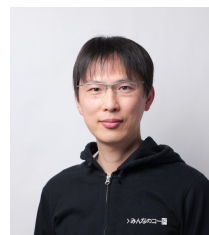
13:30~14:30

国際センター 2F

榎本ホール

特定非営利活動法人みんなのコード 講師・研究開発担当 千石 一朗氏

中学校技術科教員としての実践と、NPO法人みんなのコードでの教材開発・教員研修・教育政策提言の経験をもとに、情報・技術教育のこれからを考えます。生成AIやデジタルものづくりを手掛かりに、子どもたちの創造性を育む学びの可能性を共有します。



公立中学校で技術科教員として勤務し、教科書執筆にも携わる。現在はNPO法人みんなのコード職員として、情報・技術教育の教材開発、授業実践、教員研修、自治体支援に従事。生成AIやデジタルものづくりを生かした学びの普及と、学校現場の伴走支援に取り組んでいる。

6名の講師による実践的なワークショップ 14:40~16:40 1号館 2F

6コースから最大2コース
まで参加可能！

A『すごい！何これ？』を引き出す実学

進化生物学研究所／東京農業大学 [小学理科]

研究員・非常勤講師 蝦名元 氏

身近な生物や標本など実物の活用例をご紹介します。
教育・遊びネタとなれば幸いです！

B 探究活動をどう支えるか

品川区立伊藤学園(義務教育学校) [中学理科]

統括校長 野口大和氏

小中学生が探究して学ぶなんて、できっこない？
丸投げにしない学校の支援を紹介します。

C 実物を活かすための視点

東京都立石神井高等学校 [高校理科(生物)]

主任教諭 瀧澤岳 氏

実物を活用し、課題解決型授業を設計する視点を
考えます。

D 栽培×デジタルの実践

広島大学附属福山中・高等学校 [中学技術]

教諭 三浦利仁 氏

圃場モデルを用いて、栽培時の困りごとを
デジタルの力で解決する授業実践を紹介します。

E カリキュラムの創り方

広島県立西条農業高等学校 [高校農業]

校長 竹志幸洋 氏

農業高校唯一のSSH指定校における実践的・
探究的なカリキュラム開発の取組を紹介します。

F 生成AI時代の教師と生徒の学び

特定非営利活動法人みんなのコード

講師・研究開発担当 千石一朗 氏

生成AIやデジタルものづくりを手掛かりとした
教材を紹介します。

[情報交換会] 17:00~18:30 国際センター 1階・レストランスペースにて

主催：東京農業大学 教職課程

共催：全国教職員部会連絡協議会

後援：東京農業大学 校友会

東京農業大学教育後援会

東京農業大学 教職課程

世田谷キャンパス 東京都世田谷区桜丘1-1-1

TEL:03-5477-2512

E-mail:kyosyoku@nodai.ac.jp

小田急線経堂駅より徒歩15分 または 東急田園都市線用賀駅よりバス10分 農大前下車

<https://www.nodai.ac.jp/campus/map/setagaya/> (右記 QRコード)

